

研究構想シート		学校名	都万小学校
		氏名	米津みほ子
A 研究主題 主体的に課題に取り組み、伝えあい高め合う児童の育成			
B 研究の目的 主体的に課題に取り組み、伝えあい高め合う児童を育成するための方法をさぐる			
C 子どもの実態 ○落ち着いて学習にとりくめる。 ○人前での自己主張が苦手。 ○難しい課題には消極的であったり、教師に頼ろうとする。	E 手立て・内容（研究仮説） ○児童が自分たちで学習を進めていくスタイルを確立（児童がガイドになって学習を進行） ○児童相互のかかわりの中で考えを深めていけるような授業づくり（学級会、ペア学習） ○各教員が設定した視点で、主体的伝え合う児童にするための方法をさぐる		D めざす子どもの姿 ①主体的に課題に取り組む児童 ・学ぶことに興味や関心を持って取り組む子 ・見通しを持って、粘り強く取り組む子 ・課題解決のために、様々な方法を考える子 ・次につなげたり、実生活と結びつけたりする子 ②伝え高め合う児童 ・相手に分かりやすく伝える子 ・相手の考えを分かろうとして聞ける子 ・自分の考えと比べ、自分の考えを確かなものにする子 ・よりよい解決策を考えていく子
	F 検証方法 ・タブレットやノート、発表に使うボードなどの記述をもとに日々の児童の変容を見取る。 ・年に二回実態調査アンケートで変容を見取る。		
	G 研究計画 ○子どもの実態、目指す姿、手立てを共通理解する。 ○学級会や算数のガイド学習を教師がハードルなく取り組めるような教材を整備。 ○研究における自分の課題を設定する。 ○二回目の実態調査アンケート ○自他の研究授業を通して、自分の設定した課題の解決の糸口をさぐる。 ○二回目の実態調査アンケート ○個人課題についての報告会 ○算数部会と学級会部会のふり返り		